

# 子宮頸がん予防ワクチンの予防接種を受けるにあたっての説明

## ○保護者の方へ：必ずお読みください。

子宮頸がん予防ワクチンは、子宮頸がんの主な原因とされるヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を予防するワクチンです。

### 1. ヒトパピローマウイルス (HPV) 感染症の症状について

子宮頸がんのほとんどがヒトパピローマウイルス (HPV) というウイルスの感染によって生じます。ヒトパピローマウイルスは皮膚や粘膜に感染するウイルスで、100 以上の種類に分類されています。これらのうち主に粘膜に感染する種類は、性行為を介して生じる表皮の微少なキズから、生殖器粘膜に侵入して感染するウイルスであり、海外においては性活動を行う女性の 50%以上が、生涯で一度は感染すると推定されています。

粘膜に感染する HPV のうち少なくとも 15 種類は子宮頸がんから検出され、「高リスク型 HPV」と呼ばれています。高リスク型 HPV の中でも 16 型、18 型とよばれる 2 種類は特に頻度が高く、海外の子宮頸がん発生の約 70%に関わっていると推定されています。また、子宮頸がん以外にも、海外において少なくとも 90%の肛門がん、40%の膣がん・外陰部がん・陰茎がんに関わっていると推定されています。その他、高リスク型に属さない種類のもは、生殖器にできる良性のイボである尖圭コンジローマの原因となることが分かっています。

### 2. 予防接種の効果と副反応について

ワクチンの中には、いくつかの種類ヒトパピローマウイルス (HPV) のウイルス成分が含まれており、予防接種を受けたお子様は、これらに対する免疫を獲得することができます。体内に免疫ができると、HPV にかかることを防ぐことができます。

ただし、予防接種により、軽い副反応がみられることがあります。また、極めて稀ですが、重い副反応がおこることがあります。予防接種後にみられる反応としては、下記のとおりです。

#### ヒトパピローマウイルスワクチンの主な副反応

主な副反応は、発熱や、局所反応（疼痛、発赤、腫脹）です。また、ワクチン接種後に注射による痛みや心因性の反応等による失神があらわれることがあります。失神による転倒を避けるため、接種後 30 分程度は体重を預けることのできる背もたれのあるソファに座るなどして様子を見るようにしてください。

稀に報告される重い副反応としては、アナフィラキシー様症状（ショック症状、じんましん、呼吸困難など）、ギラン・バレー症候群、血小板減少性紫斑病（紫斑、鼻出血、口腔粘膜の出血等）、急性散在性脳脊髄炎（ADEM）等が報告されています。

### 3. 接種に当たっての注意事項

予防接種の実施においては、体調の良い日に行うことが原則です。お子様の健康状態が良好でない場合には、かかりつけ医等に相談の上、接種するか否かを決めてください。

また、お子様が以下の状態の場合には予防接種を受けることができません。

- ①明らかに発熱（通常 37.5℃以上をいいます）がある場合
- ②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合
- ③受けるべき予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある場合
- ④13 歳以上（中学 1 年生～高校 1 年生（満 16 歳以上の者を除く。））の方の保護者がこの説明書の記載事項を読み、理解し、納得してお子様へ予防接種を受けさせることを希望する場合に、予診票に自ら署名することによって、保護者が、同伴しなくてもお子様は予防接種を受けることができるようになりました。ただし、当日は、署名をした予診票を必ず持参させてください。
- ⑤その他、医師が不適当な状態と判断した場合  
なお、現在、妊娠している方は、接種することに注意が必要な方ですので、かかりつけ医とよくご相談ください。

### 4. 県の相談支援体制、医療体制について

#### ① 相談支援体制

HPV ワクチン接種後に気になる症状や学校生活等についての、総合相談窓口を常設しています。

相談窓口	相談例	電話
<衛生部門> 健康福祉部感染症対策室 感染症対策課（県）	接種後、時々頭痛があるが副反応か？ 市町の窓口はどこになるか？	078-362-3264
<教育部門> 教育委員会事務局 体育保健課（県）	症状があり、通学や学習に不安がある。	078-362-3789

#### ② 医療体制

HPV ワクチン接種後に生じた症状の診察に係る協力医療機関を選定しています。HPV ワクチン接種後、気になる症状の悪化や症状が継続する場合、まずは接種医療機関など、地域の医療機関を受診し、受診した医療機関の医師から、下記の協力医療機関へ紹介受診してください。

#### 【協力医療機関】

神戸大学医学部附属病院・兵庫県立尼崎総合医療センター・兵庫県立はりま姫路総合医療センター

### 5. 重い副反応並びに予防接種健康被害救済制度

ワクチンの種類によっては、極めてまれ（百万から数百万人に 1 人程度）に脳炎や神経障害などの重い副反応が生じ、生活に支障が出るような障害を残すこともあります。このような場合に厚生労働大臣が予防接種法に基づく定期の予防接種によるものと認定したときは、予防接種法に基づく健康被害救済の給付対象となります。

給付申請の必要が生じた場合には、川西市保健センターへご相談ください。

制度の詳細は厚生労働省ホームページへ →



(問い合わせ先) 川西市保健センター TEL 072-758-4721

(平日9時～17時)